

31124 援助技術論Ⅱ（診療に伴う援助技術） a、 b Nursing art II (Assistance Skills in Care)		2 年次～ 前期 2 単位																			
担当者	佐藤 都也子／尾崎 道江／柴田 京子／熊谷 英樹	履修可能学科	N必																		
		関連資格	看護（N）																		
サブタイトル																					
授業内容 ・ ねらい	看護の対象となるあらゆる健康段階にある人々への援助の必要性を理解し、対象の日常生活をふまえた科学的根拠に基づく看護実践の基礎となる知識と援助技術を学ぶ。 それぞれの援助技術の必要性や適応を判断し、科学的根拠に基づく具体的方法を立案して実際に援助技術を行い学習する。																				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 栄養と食生活に関わる看護</td> <td>10. [演習] 薬物療法に関わる看護1</td> </tr> <tr> <td>2. [演習] 清潔/栄養と食生活に関わる看護</td> <td>11. [演習] 薬物療法に関わる看護2</td> </tr> <tr> <td>3. MEと看護</td> <td>12. [演習] 臥床患者のシーツ交換</td> </tr> <tr> <td>4. 放射線と看護</td> <td>13. 検査に関わる看護</td> </tr> <tr> <td>5. 排泄に関わる看護</td> <td>14. [演習] 検査に関わる看護</td> </tr> <tr> <td>6. [演習] 排泄に関わる看護</td> <td>15. 安楽な呼吸を促す看護</td> </tr> <tr> <td>7. 安全を守る看護技術</td> <td>16. [演習] 安楽な呼吸を促す看護</td> </tr> <tr> <td>8. [演習] 安全を守る看護技術</td> <td>17. 死にゆく人の看護</td> </tr> <tr> <td>9. 薬物療法に関わる看護</td> <td></td> </tr> </table>			1. 栄養と食生活に関わる看護	10. [演習] 薬物療法に関わる看護1	2. [演習] 清潔/栄養と食生活に関わる看護	11. [演習] 薬物療法に関わる看護2	3. MEと看護	12. [演習] 臥床患者のシーツ交換	4. 放射線と看護	13. 検査に関わる看護	5. 排泄に関わる看護	14. [演習] 検査に関わる看護	6. [演習] 排泄に関わる看護	15. 安楽な呼吸を促す看護	7. 安全を守る看護技術	16. [演習] 安楽な呼吸を促す看護	8. [演習] 安全を守る看護技術	17. 死にゆく人の看護	9. 薬物療法に関わる看護	
1. 栄養と食生活に関わる看護	10. [演習] 薬物療法に関わる看護1																				
2. [演習] 清潔/栄養と食生活に関わる看護	11. [演習] 薬物療法に関わる看護2																				
3. MEと看護	12. [演習] 臥床患者のシーツ交換																				
4. 放射線と看護	13. 検査に関わる看護																				
5. 排泄に関わる看護	14. [演習] 検査に関わる看護																				
6. [演習] 排泄に関わる看護	15. 安楽な呼吸を促す看護																				
7. 安全を守る看護技術	16. [演習] 安楽な呼吸を促す看護																				
8. [演習] 安全を守る看護技術	17. 死にゆく人の看護																				
9. 薬物療法に関わる看護																					
教科書 参考書	教) 深井喜代子 編集：基礎看護学テキスト EBN志向の看護実践，南江堂，2006。 参) Carol Taylor et al：Fundamentals of NURSING The Art & Science of Nursing Care, 6th edition, Lippincott, 2006.																				
評価方法	レポート，グループワーク貢献度																				
事前準備学習 履修条件等																					